

2023年5月25日 中部経済新聞に 東海理化さんと豊具産業の現場力向上活動の 取組みが掲載されました。

の進
に車載電池部品などの開発
を担う春日井事業所(春日
井市)を新設し、稼働した。



電池部品の量産用のスペースを確保

に日本初の開発拠点 車部品大手 T1フルイドシステムズ

など
バッテリー周辺の冷却システムなどの開発を手がける。トヨタ自動車をはじめ、国内メーカーとの開発体制を強化する。

開発拠点は名古屋市中西区則武新町3の9の8に設ける。敷地面積は19000平方メートル。

日本工作機械工業会(日工会)は24日、4月の工作機械受注実績(確報値)を発表した。受注総額は前年同月比14.4%減少し、1326億9千万円。4カ月連続で減少し、足踏み状態が続いている。前月比でも5.9%減と、2カ月ぶりに減少した。

内訳をみると、内需が前年同月比21.5%減の41

4月の受注実績は 4ヵ月連続の減少 日本工作機械工業会まとめ

7億2千万円。外需が10.7%減の909億7千万円。前月比ではそれぞれ15.5%減、0.7%減だった。

内需は、3月に期末効果があった反動があらわれたほか、主要な自動車や半導体関連向けで弱さがみられた。外需は、中国や米国で減少したが、インド、欧州が増加した。



富士フィルムが開設した「フジフィルム クリエイティブ レジ」=東京都港区

デザイナーが
富士フィルム
サイナーとエ
う新たな開発
内に開設した
設けた開放的
員同士の交流

電池部品の量産するためのスペースを確保した。受注獲得前だが、事前に準備を整えて迅速に量産できるようにする。

電池部品の量産用のスペースを一階フロアに確保し、超精密塗布装置「クスパ」

「EV電池、稼ぎ頭に」

パナHD社長、重点投資で

パナソニックホールディングス(HD)の権見雄規社長(58)は24日までに共同通信などのインタビューに応じ、電気自動車(EV)向け車載電池事業について「グループ内で最も伸び、稼ぎ頭になる」との見通しを示した。同社は車載電池を「重点投資領域」と位置づけ、2022~24年度の戦略投資枠6千億円のほぼ全てを振り向ける方針を掲げている。車載電池はEV普及に伴い需要が急拡大している。競争激化のリスクもあるが「特定のお客さまと、どういった電池が求められるか情報交換しながらやっていく」と述べ、米EV大手テ



インタビューに応じるパナソニックホールディングスの権見雄規社長

た。最大で樹脂成形機を4台設置でき、計2ライン敷くことができる。受注次第で、2026年をめどに月100万~200万個の部品を造る計画だ。現在は試作用の設備を設置している。受注を自指しているのはリチウムイオン電池の構成部品だ。19年に同社グループ入りし、自動車部品などを手掛けるタイシン(本社名古屋市中区)の生産技術を活用。「進和の搬送装置などのノウハウも組み合わせ、競争力の高い部品づくりを目指す」と(小林孝弘・電池部副開発課課長) 考え。主に日系電池メーカーに売って入っている。

同事業所は、延べ床面積で、延べ床面積で、現在設置している。

仕入れ先改善支援 累計24社に

東海理化 2016年から一体で

東海理化(本社愛知県大口町)は、仕入れ先の製造現場の改善を支援する「現場力向上活動」に力を入れている。2016年に開始し、工場の生産性や物流業務の改善など幅広い取り組みを展開。これまでの支援先は累計24社と、協力会企業(47社)全体の半数に達した。仕入れ先と一体で製造分野の競争力を強化し、持続的な成長を目指す。(勝又佑記)



仕入れ先の豊具産業では金型保全の仕組みを改善

生産性や物流面で成果

同活動は生産性や物流改善に加え、工場の安全や品質確保などに関する取り組みを行っている。具体的には生産ラインの省人化や検査業務の最適化などをサポート。加えて仕入れ先で改善に携わる人材育成まで行

い、改善活動を継続、定着できるように努めている。現在の支援先は年5~6社に上る。調達部の仕入れ先支援室の担当者が仕入れ先に出向き、1社当たり半年程度かけて改善に取り組んでいる。東海理化社内の品

質管理や生産調査、生産技術などの部門とも連携。支援は無償で行っている。調達本部長の牧野元保執行役員は「改善支援を通じて、当社の担当者の育成にもつながっている。当社、仕入れ先の相互研さんの場にな



日本チェーンストア協会が24日発表した4月の全国スーパー売上高は、既存店ベースで前年同月比3.4%増となり、2カ月連続で増えた。節約志向の高まりから1人当たりの購入商品数が減少しているものの、

食料品の相次ぐ値上げが購入額を押し上げた。全店ベースの売上高は1兆1062億円。売り上げの7割近くを占める食料品は4.9%増だった。出勤や外出機会が増え、手軽に食事を取れる総菜が伸びた。一方、牛肉や刺身の盛り合わせといった比較的高価格帯の商品の売れ行きは鈍かった。

担当者は「レジャーなどでの支出が増えた分、食料品を買い控える可能性もある」と分析している。

スーツやジャケットなどが好調な衣料品は0.2%

スーパー売上高3.4%増

4月の全国食料品値上げで

生数を10分の1程度に減らした。このほか、製品検査と計量業務の効率化などの改善を手掛けた。

豊具産業の服部基社長は「従来は改善したいが方法が分からず、行き詰まる場合が多かった。さまざまアイディアを受け、改善につなげることができた」と話している。

ついている」と強調する。支援先のうち、プレス部品製造の豊具産業(本社稲沢市)では金型の急な不具合に対する改善に取り組んだ。かつては期間を定めて金型保全していたが、プレス成形の回数に応じて保全する仕組みに改めた。最適なタイミングで保全するようにして、金型不具合の発

株式会社 浦野設計
URANO ARCHITECTS & ENGINEERS
環境に配慮された施設づくりのご提案
http://www.urano-s.co.jp

西鉄バスにパン
来月か
西日本鉄道は
伊み食用油を主
次世代バイオエ
料(BDF)を

増。日用雑貨や
含む「住関連品
増だった。